

渡米してから4ヶ月が経過し、UIUC(University of Illinois at Urbana Champaign)の講義が始まってから1ヶ月が経った。今回の報告は主として、現在履修している科目や講義の内容とIEI(Intensive English Institute)での2ヶ月間について報告する。

<秋学期の履修科目>

- ・ ESL 110 : English Pronunciation for Academic Purpose
- ・ ESL 113 : English Structure & Paragraph Development
- ・ EALC 250 : Intro to Japanese Culture
- ・ HIST 172 : US History Since 1877

UIUCでは、TOEFLのスコアに基準を設けている。Paper-and-Pencil TOEFLが610点以上、もしくは、Computer-based TOEFLが253点以上に満たない学生には、EPT(English Placement test)の実施が義務付けられている。EPTの結果に応じて、ESL(English as Second Language)の履修が「必須」もしくは、「推奨」のいずれかに振り分けられる。また、各学科のアドバイザーと履修科目について相談する際の基準にもなる。私はアドバイザーと相談の結果、秋学期はESL110、ESL113、EALC250、HIST172を履修することになった。本来、秋学期にも、私の専攻科目を履修したかったのだが、アドバイザーと話し合う中で、ノーマルのクラスを履修することにした。すなわち、秋学期は、イリノイ大学を理解すると共に、英語力の向上を目的としている。各学期しっかりと計画を立てて、充実した留学生活になるよう努力する。

ESL 110

ESL110とは、English Pronunciation for Academic Purposeという名の通り、英語の発音を重点的に練習する科目である。私はEPTの結果、推奨であったため受講することにした。講義内容は英語特有のaccentやrhythmなどについて発声を交えながら学んでいる。また、担当教員のオフィスに行き、与えられた文章や単語を録音するなど、教員との発音練習が組み込まれている。さらに、録音ファイルを課題として提出する際には、UIUCが推奨しているAudacityという録音プログラムを使用している。授業中にCD-Rが配布され、CD-R内にはガイドも入っているので、初めて使用する人にとっては非常に便利である。実際、私はIEIに在籍していた時、既にAudacityを使用しており、使い方は一通り理解していたので、録音は簡単に行うことができた。また、授業スケジュールやassignmentなどは全てWebサイトに用意されているので、非常に便利である。

ESL 113

ESL113とはEnglish Structure & Paragraph Developmentという名の通り、ライティングスキルの向上を目的とした授業である。私はEPTの結果、必須であったため受講することにした。講義内容は教員がライティングに必要な知識や方法を分かりやすく説明してくれる。また、この授業にもディスカッションが組み込まれているため、幾つかのグループを作り、課せられた問題について討論する。この時に必要となってくるのは、スピーキング力とヒアリング力である。IEIではディスカッションが組み込まれていなかったため、英語でのディスカッションは今学期が初めてである。また、受講している学生のほとんどはUIUCの学生であるため、毎回の授業で彼らから学ぶことも多い。一週間に一度は何らかのessayを書き、ピアレビューを行い教員に提出することがassignmentの一つとして課せられている。正直、私は文章を書くことが苦手な方なので、苦勞している。

EALC 250

EALC250 とは East Asian Language and Culture という種類の科目で、アジア圏の文化について学ぶことを目的としている。私は、その中で日本文化についての講義を選択した。理由は、アメリカ人から見た日本がどのように映っているのか、アメリカで日本のことをどのように教えているのかが興味があったためである。授業は、2時間の講義と1時間のディスカッションで構成されている。講義は1人の教授に対して200人以上の学生が受講している。教授は主にスライドを使用して講義を行い、たまに YouTube を使用して映像を見ながら講義を行うこともある。さらに、教授自ら“能”や“歌舞伎”のデモンストレーションを行うなど、非常に毎回の授業が新鮮である。授業内容は基本的な日本の説明から始まり、日本人の考え方や精神、日本における宗教、武士や商人の社会、現代社会へと進んでいく予定である。また、この授業も Web サイトが完備されており、毎回の授業で教授が使用するスライドが授業前にはアップされている。すなわち、授業前にスライドを見ることができるので、予習を行うことができる。しかし、授業前に準備を行ったとしても、授業内容を完全に理解することは難しい。特に、ディスカッションのクラスではグループを組んで幾つかのトピックについて話し合うのだが、深い話になると英語での表現が困難になってくるため、悔しい思いをしている。また、reading や essay の課題が非常に多いので、今はこのクラスの課題に、一番多くの時間を費やしている。

HIST 172

HIST172 とは US History Since 1877 という名の通り、1877 年以降のアメリカにおける工業の発展やアメリカ都市、社会性、論争などによる世界的な問題を主に学習するクラスである。授業は EALC250 と同じく、2時間の講義と1時間のディスカッションで構成されている。講義形式は基本的に教授がスライドを使用しながら講義を行い、YouTube などの映像を見たりもする。また、このクラスも同様に Web サイトを使って、講義内容を確認することができるため、学習する際には非常に便利である。しかし、講義内容を完全に理解することは難しい。さらに、教授のスピーキングスピードが非常に速いため、聞き取ることに精一杯と言ったところだ。このクラスを通して感じることは、多くの学生が講義内容を真剣にノートに書いているのだが、中には居眠りしている学生や、よそ事をしている学生も少なくない。これは、EALC250 でも同様に感じることである。こちらの学生は両極端であるように思える。しかし、見習う点も多くある。教授が質問を投げかけると、絶対に複数の学生が手を挙げ自分の意見を言うことだ。時には、教授との意見の食い違いが生じ、講義中にバトルが開始されることもある。

Intensive English Institute

イリノイ大学への派遣留学前に2ヶ月間、英語力の向上とキャンパス内での生活に慣れることを目的に受講した。授業形式は Pronunciation in Conversation, Listening and Oral Communication, Reading, Writing, English Grammar の5科目がある。受講前に、EPT(English Placement test)が実施され、教員との簡単な Conversation のほか、academic course と everyday course のどちらかを選択する。その後、IEI から学生にクラスが発表される。Academic course は将来的に大学授業を受講する学生を対象としたコースである。Everyday course は生活に必要な基礎の英語を学ぶコースである。また、IEI には多くの activity がある。ピクニック、シカゴ旅行、ゲームナイトなど、どれも非常に面白く、様々な国の人達と仲良くなれるいい機会であった。また、IEI に来ている人達は皆、目的意識が高く、メンタルの面で非常にプラスになることが多くあった。

Bible Study

現在、私は J-HOP(Japanese Hang Out Place)と J-NET(Japanese Intercultural Network)に所属している。J-HOP とは、日本人のコミュニティである。日本人や日本に興味がある他国の人たちが集まりコミュニケーションを取る小さな団体である。基本的に J-NET も同じスタイルではあるが、J-NET の方が規模は非常に大きい。さらに、他国の人たちが多く参加しているので、異文化を学び、他国の人とコミュニケーションを取るには非常に便利な場である。私は毎週、J-HOP が開催している Bible Study に参加している。Bible Study とは、その名の通り聖書を学ぶことを目的としている。勉強形式を簡単に説明すると、聖書から幾つか抜粋された文章を読み、2 グループに分かれてディスカッションを行う。正直、今まで聖書を勉強したことがなかったので多くの疑問や戸惑いはあるが、異文化を学ぶ一つの機会として参加している。また、セミナーは英語で行われることが多いので、英語を勉強したい私にとっては非常に良い機会となっている。

Mini-O

私は年に一度開催されるビッグイベントの一つ、Mini-Olympic に J-HOP のメンバーとして参加した。Mini-Olympic とはその名の通り、小さなオリンピックで、CFC という団体が取り仕切っている。J-HOP も CFC に所属しており、J-HOP のような各国のコミュニティが 30 チーム以上参加しており、総勢で 500 人以上いたので、規模は非常に大きなものである。また、種目の詳細が前もって公開されているので、役割分担や Chant の練習などを入念に行った。と言うのも、このレースで Chant は非常に大きなポイントを締めるので、日本人らしく、楽しめるようなものを作ろうと、何度も練習を重ねた。開催当日は各チームの気合の入りが凄く、非常に白熱したレースとなった。最終的に J-HOP はプレーオフに出場することができ、最終順位は 4 位であった。この順位には、J-HOP メンバー全員が驚いた。さらに驚くことが、Chant ではユーモア性が買われ、見事 1 位を獲得することができた。この Mini-O の参加を通して J-HOP のメンバーとの絆が深まったと実感している。



J-HOP Chant Champs Mini-O's 2008

その他

生活に関しては、今のところ特に問題はない。授業の方は、Paper の提出や Midterm-Exam が控えており、最近是十分に眠れない日々が続いている。さらに、最近になって気温の変化が激しくなり、友人の中には風邪をひいた学生もいるので、体調管理には十分気を配りたい。

今後も、授業や J-HOP、J-NET を通して、こちらでしか経験できないような機会を大切にしていきたい、有意義な留学生活が送れるよう努力していく。

以上